



校訓

なかよく かしく たくましく

ちがいを豊かさに 自分に夢と自信を

令和6年1月9日 第19号 文責 梶原 圭一



◆◆2024 年がスタート!◆◆

新年 あけましておめでとうございます。旧年中は、本校の教育活動に対しましてご理解並びにご協力いただき、心より感謝申し上げます。2024年もよろしくお願い申し上げます。

さて、本日より後期後半がスタートしました。新年を迎えるに当たり、子どもたちは、どのような目標を立てたでしょうか。学習面や運動面、生活面など、一人ひとりの目標は様々かと思いますが、「なりたい自分」に向かって努力し、自分自身の成長を感じられるような1年を過ごしてほしいと願っています。そのような子どもたちの頑張りを、本校職員一同で応援していきたいと思っています。

令和5年度の卒業証書授与式並びに修了式まで、残すところ50日ほどとなりました。この期間は、次のステージへの準備期間と考えることができるでしょう。「何ができるようになり、どんな力が身についたのか」を日々の学校生活の中でしっかりと振り返り、学年のまとめを行ってほしいと思います。また、依然として様々な感染症が流行しています。しばらくは寒い日が続きますが、「自分で自分の体を守る」という意識を高めながら、元気に登校し、「ともに(共に)学び ともに(友に)学ぶ」学校生活を送ってほしいと願っています。

後期後半も、頑張る子どもたちを「認め、ほめ、励まし、伸ばす」学校を目指し、努力してまいります。



◆◆武蔵ヶ丘小学校の宝◆◆

昨年末、本校に一枚の手紙が届きました。そこに綴られた内容を読みながら、武蔵ヶ丘小の素晴らしさを感じ、心が揺さぶられました。この手紙は本校の宝として、校長室前に掲示したいと思います。手紙に書かれた全文を紹介するので、ご一読いただき、多くのことを感じていただければ幸いです。

こんにちは、突然のお便り失礼いたします。実は私の叔母(83歳)が貴小学校のすぐそばの〇棟に一人で住んでいるのですが、12月8日の朝8時過ぎ頃、いつものようにゴミ袋を持って外に出、収集所に持っていきこうとしたそうです。途中でほんのちょっと近道をしようとしたためか、何かに躓き転倒してしまいました。起き上がろうとしたのですが全く身動きができず、誰かが通るのを待って助けを求めようと思いました。でも全く誰も通る人がいません。かなりの時間が経ってもうダメかもと思った頃、小学生の男の子さんが通りかかり、声を出して叫ぶとすぐに駆け寄ってきて手を貸して起こそうとしてくれました。それでも起き上がることができません。するとその男の子さんは学校の方に走って行き、登校指導中の先生に伝えてくださったのだそうです。すぐに若い先生方2人と養護教諭の先生が駆けつけてくださり、私の身を起こして額の傷の手当てまでしてくださり、救急車を呼んでくださいました。武蔵ヶ丘病院に搬送していただきましたが、お陰様でCT検査では運よく脳に異常はなく、額の切り傷を3針縫っていただくだけで済みました。

こんにちは。突然のお便り失礼いたします。実は私の叔母(83歳)が貴小学校のすぐそばの〇棟に一人で住んでいるのですが、12月8日の朝8時過ぎ頃、いつものようにゴミ袋を持って外に出、収集所に持っていきこうとしたそうです。途中でほんのちょっと近道をしようとしたためか、何かに躓き転倒してしまいました。起き上がろうとしたのですが全く身動きができず、誰かが通るのを待って助けを求めようと思いました。でも全く誰も通る人がいません。かなりの時間が経ってもうダメかもと思った頃、小学生の男の子さんが通りかかり、声を出して叫ぶとすぐに駆け寄ってきて手を貸して起こそうとしてくれました。それでも起き上がることができません。するとその男の子さんは学校の方に走って行き、登校指導中の先生に伝えてくださったのだそうです。すぐに若い先生方2人と養護教諭の先生が駆けつけてくださり、私の身を起こして額の傷の手当てまでしてくださり、救急車を呼んでくださいました。武蔵ヶ丘病院に搬送していただきましたが、お陰様でCT検査では運よく脳に異常はなく、額の切り傷を3針縫っていただくだけで済みました。

あのとき、武蔵ヶ丘小学校の生徒さんが通りかかってくれなかったらどうなっていたらと思う。5～6年生の子どもさんでした。どうか私からの感謝の気持ちを伝えていただけないでしょうか。先生方にも朝のご多忙極まる時間帯にご迷惑をおかけして、大変申し訳なく思っております。今回ほど人の温かさが身にしみたことはなく、有難さに涙が出ました。本当にありがとうございました。

あのとき、武蔵ヶ丘小学校の生徒さんが通りかかってくれなかったらどうなっていたらと思う。5～6年生の子どもさんでした。どうか私からの感謝の気持ちを伝えていただけないでしょうか。先生方にも朝のご多忙極まる時間帯にご迷惑をおかけして、大変申し訳なく思っております。今回ほど人の温かさが身にしみたことはなく、有難さに涙が出ました。本当にありがとうございました。

このことを知らせてくれたのは、6年生の男の子です。このように心の優しい子ども、そして迅速に、チームで対応してくれる先生方がいてくれることが、本校の自慢であり、誇りです。この手紙を職員で読み合いながら、私たちが幸せな気持ちになりました。このようなお手紙をいただき、本当にありがとうございました。

このことを知らせてくれたのは、6年生の男の子です。このように心の優しい子ども、そして迅速に、チームで対応してくれる先生方がいてくれることが、本校の自慢であり、誇りです。この手紙を職員で読み合いながら、私たちが幸せな気持ちになりました。このようなお手紙をいただき、本当にありがとうございました。